

エグゼクティブ・サマリー

グローバル化と長期
ミューチュアルファンドの世界的な成長

過去20年にわたり、世界のミューチュアルファンド業界は急成長してきました。1993年には4兆米ドルであったミューチュアルファンド資産は2013年第3四半期には28兆9,000億米ドルと、7倍以上増加しました。この成長は世界各地の様々な地域で共通して見られました。米国のミューチュアルファンドの資産は600%近く増加し、14兆3,000億米ドルに達しました。ヨーロッパのミューチュアルファンド業界は、米国と比べ小規模ではあるもののさらに急成長し、約620%増の約9兆米ドルに達しました。アジア太平洋地域の資産は463%増加し、3兆3,000億米ドルとなりました。カナダ、ブラジルおよび中南米のその他の国々を含む残りの地域の資産は2,419%増加し、2兆3,000億米ドルに達しました。

ICIグローバルの新しいリサーチレポート「グローバル化と長期ミューチュアルファンドの世界的な成長」は、世界の地域、国々における長期ミューチュアルファンド資産の成長、数、タイプに関し幅広い概要を提供しています。本レポートの統計分析によると、経済・金融セクターの発展が、国の長期ミューチュアルファンド資産の主要な牽引力となっています。また、ミューチュアルファンドなど加入者が直接投資を行うことができる確定拠出型制度を採用している国では、長期ミューチュアルファンド業界の規模が大きくなる傾向にあります。

ファンドの発展には、堅牢で適切な規制が基本となります。多くの影響が絡んでいますが、貯蓄ツールとしてのミューチュアルファンドが発展するには3つの要因が特に重要になります。

- » 厚みがあり、流動性の高い資本市場
- » 投資家による年金貯蓄の一環としての確定拠出型制度の利用方法
- » 一人当たりの収入で見た国の経済発展

要点:

- » 過去20年間にわたり世界のミューチュアルファンド業界では、資産が堅調に増加しました。ミューチュアルファンドの資産はグローバルでは米国、ヨーロッパ、アジア太平洋、その他の地域の増加を反映し、1993年の4兆米ドルから2013年9月には28兆9,000億米ドルにまで増加しました。

- » 長期ミューチュアルファンド資産の世界的な増加と各国ごとに異なる成長は様々な要因によって説明することができます。これらの要因には堅牢で適切な規制、資本市場へのアクセスを提供する、専門家が運用し、分散が行き届いた商品に対する投資家の需要、国内の厚みのある、流動性の高い資本市場、資本市場商品にプラスのリターン、国の経済発展度、人口動態、国家財政、加入者がミューチュアルファンドに投資可能な確定拠出型制度の有無などが挙げられます。
- » 金融商品としてのミューチュアルファンドの重要性は国家経済が発展するにつれ増えています。統計分析によると、どの国でもGDPに対する長期ミューチュアルファンド資産の割合は国民1人当たりの所得の伸びを上回る成長を見せています。
- » 開発途上国では国民が成熟し、中産階級が拡大し、ミューチュアルファンドが提供できる国内および海外への分散投資のメリットに対する投資家の理解がさらに深まり、それに対する需要が増すことから、ミューチュアルファンド市場が急成長する可能性があります。中国などの開発途上国では富と所得が大幅に増加することが見込まれます。これはミューチュアルファンド資産が大きく成長する可能性があることを示唆しています。
- » 中国の長期ミューチュアルファンド業界はその経済に比べて比較的小規模ですが、その規模は国民1人当たりの所得と一致しています。しかし、中国の国民1人当たりの所得は今後35年間、急成長すると考えられます。一部の予測の通り、中国の国民1人当たりの所得が急増した場合、ミューチュアルファンドの存在感は2050年までにさらに高まる可能性があると言えます。一部のレポートは、中国の国民1人当たりの所得は2050年までに40,000米ドルに達する可能性があるとしています。その場合、本ICI グローバルリサーチパースペクティブの統計分析では、中国のミューチュアルファンド市場は2050年までに11兆8,000億米ドルに成長する可能性があるとしています（3ページ、図1を参照）。
- » 2013年第3四半期の日本のミューチュアルファンド資産は総額で7,630億米ドルでした。それなりの規模ですが、国民1人当たりの所得レベルが高い先進国としては相対的に小規模だと言えます。フランスと英国の国民1人当たりの所得はわずかに低くなりますが、長期ミューチュアルファンド資産はその経済規模と比較して遙かに大きくなっています（ページ3、図2を参照）。日本におけるミューチュアルファンドの存在感が低い理由の一つとして、ドイツ同様、以前から国民が貯蓄手段として銀行預金により大きな信頼を置いていることが挙げられます。日本で、加入者がミューチュアルファンドに投資できる確定拠出型制度の採用が普及すれば、今後この傾向は変化するでしょう。

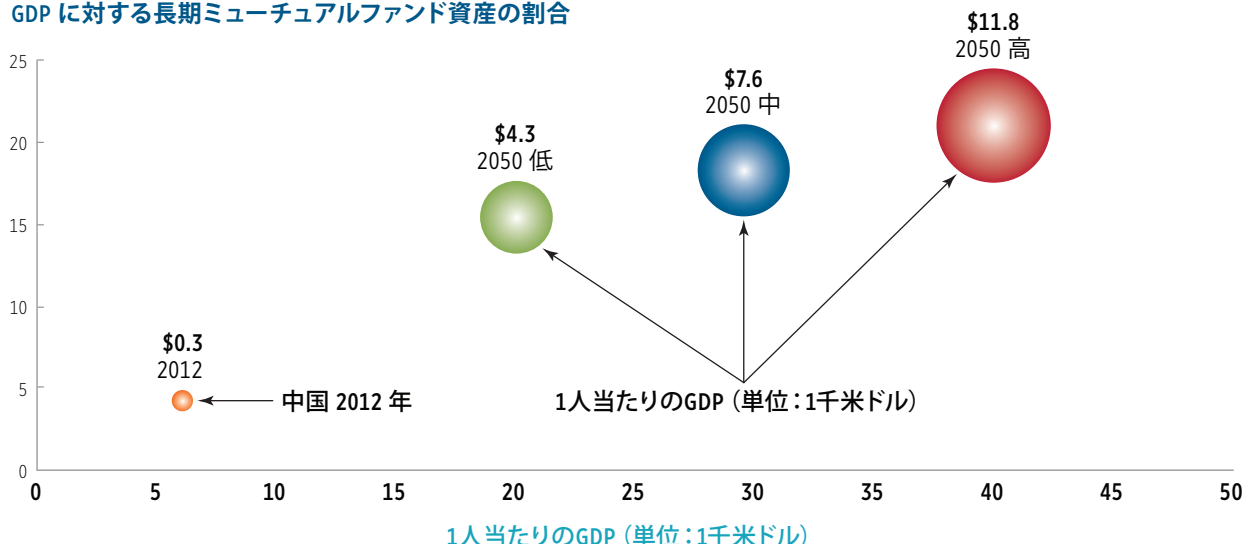
ICI グローバルリサーチパースペクティブフルレポートは次のリンクからご入手いただけます。

www.iciglobal.org/pdf/icig_per01-01.pdf

図1:

現在および2050年の中国の長期ミューチュアルファンド業界

GDP に対する長期ミューチュアルファンド資産の割合



注：ボールのサイズは、長期ミューチュアルファンド資産の総額（単位：1兆米ドル）を表します。

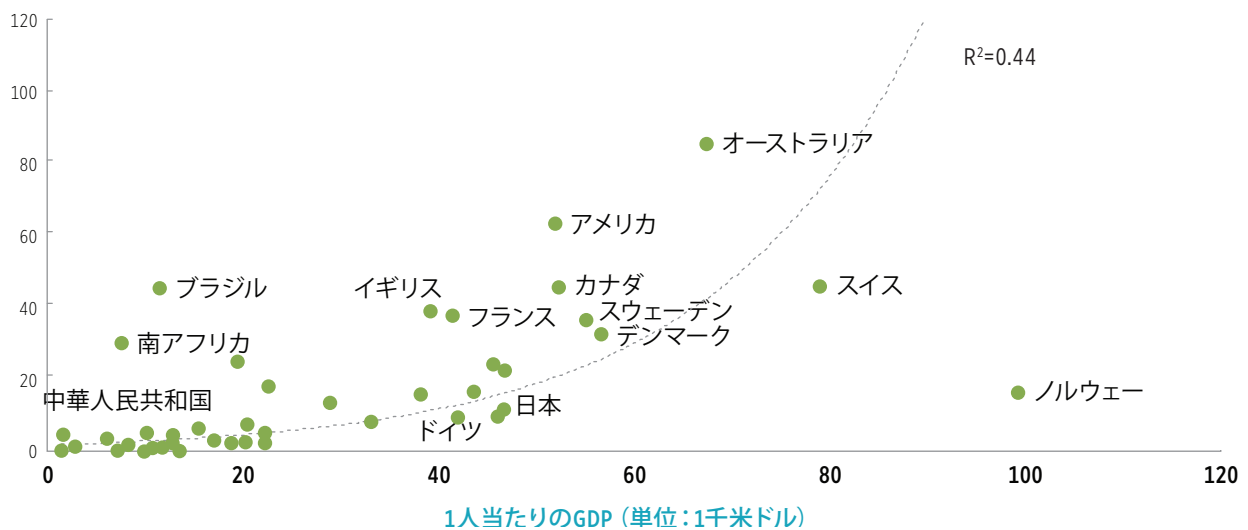
出典：投資会社協会、GSグローバルECSリサーチ（フィナンシャル・タイムズ、ゴールドマン・サックス：2050年のBRICs、2011年12月7日）

図2:

国民1人当たりの所得が増加すると、ファンド利用が増加

2012年

GDPに対する長期ミューチュアルファンド資産の割合



注：ロシアの正味資産データ総額は2011年時点のものです。データにはアルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カナダ、チリ、中国、コスタリカ、チェコ共和国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、インド、イタリア、日本、韓国、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スロバキア、スロベニア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、台湾、トリニダード・トバゴ、トルコ、英国、米国が含まれます。

出典：国際投資ファンド協会（International Investment Funds Association）および国際通貨基金



ロンドンオフィス
35 New Broad Street
London, EC2M 1NH, UK
+44 203 009 3100
www.iciglobal.org

香港オフィス
Suite 1606-08 Chater House
8 Connaught Road, Central, Hong Kong
+852 2910 9224
www.iciglobal.org



ワシントンオフィス
1401 H Street, NW, Suite 1200
Washington, DC 20005
202-326-5800
www.ici.org

Copyright © 2014 by ICI Global. 無断複写・複製・転載を禁ず。

ICIグローバルは、世界各地の司法管轄地域で公的に投資家に提供され、法規制により管理された上場ファンドの世界的な組織です。ICIグローバルのメンバーの運用総資産は、1兆3,000億米ドル以上です。